

僕のことだけ見てればいいのにの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	僕のことだけ見てればいいのにの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	僕のことだけ見てればいいのにを読んだことのある20代～50代の男女33名
調査期間	2025年4月10日～2025年4月16日 2025年5月10日 2025年6月4日 2025年7月31日 2025年8月30日 2025年9月30日 2025年11月30日 2025年12月30日 2026年2月1日 2026年2月28日 2026年3月30日 2026年4月30日 2026年5月30日 2026年6月15日 2026年7月15日 2026年7月30日 2026年8月15日 2026年9月15日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/bokunokotodakemiterebaiinoni/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 僕のことだけ見てればいいのにを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	1人
-------	----

40代男性	14人
50代男性	18人

Q2: 僕のことだけ見てればいいののにの感想を教えてください。

僕のことだけ見てればいいののにの1話～5話感想

とにかく、この作品のヒロイン香澄が魅力的過ぎますね。奥ゆかしい感じで気が弱いというところにすごく可愛らしさが凝縮されていましたね。断れない性格なので仕事も断れず進んでやってしまう姿が面白いのです。その結果、毎回残業に追われてしまうのですが、頑張り屋さんな意味面にもすごく心を動かされます。そんな香澄の彼氏がめっちゃくちゃクズ野郎だったので、その部分には本当に腹が立ちましたね。同じ会社の子と浮気していたなんて本当にびっくりですね。

香澄の新たな相手役として萱沼というイケメンが登場するのですが本当に完璧と言っていいほど格好いい存在ですね。香澄にナチュラルに声をかけて優しく励ましてあげる姿など本当にモテるのが理解できます。萱沼に言い寄られて断る女性など多分ないくらいのパークフェクトイケメンなので見ていて凄く爽快ですね。これから二人がどうなるのかも楽しみです。

香澄が本当に可哀想でした。仕事に邁進していただけなのに、その間に同じ会社の後輩である太田に彼氏を奪われてしまうなんて本当に切ないです。でもある種良かったとも言えますね。こういう性質の彼氏だったら早めに見切りをつけて次の恋に行ったほうがいいですからね。現に萱沼というイケメンが現れたので香澄にとってそれは必然だったのでしょうね。

僕のことだけ見てればいいののにの6話～10話感想

香澄と萱沼の関係性の部分がとにかく気になりますね。香澄の部署に新しく異動してきたイケメンなのですが、彼の存在が香澄の転機にもなるのでそこがとにかく面白いですね。あることがきっかけで同棲生活が始まる場面は本当にドキドキしますね。この同棲がきっかけとなって段々と香澄が心を開き萱沼のことを好きになっていくプロセスが本当に面白いです。「こういう展開待っていた」という感じの出来事が多く描かれていくのでその部分に注目していくとよりこの作品を楽しめると思います。

作中、萱沼が香澄のことをとても気に入り専属のアシスタントにする展開が最高ですね。二人には早くくっついて欲しいと思っていたので仕事上とは言え距離が縮まった姿を見て凄く胸がワクワクしましたね。やっぱり萱沼と香澄はとてもお似合いのカップルだと思います。お互いのことを思い合っているのが作画から強く伝わってくるのでその点もとてもいいですね。

本当に萱沼はすごいキャラですね。香澄が彼氏に浮気されて傷ついている姿を見て優しくその気持ちを解きほくしてあげている姿がとにかく格好いいなと思いましたね。こういうことを自然にできる男性にすごく憧れます。あとやっぱり萱沼と香澄の関係を周りの社員が騒ぎ立てる展開は必見ですね。こういう展開よくラブコメ作品にあります。すごくドキドキ感を煽ってくれるので見ていて面白いです。

僕のことだけ見てればいいののにの11話～15話感想

萱沼の家に居候したことがきっかけで香澄の心に変化が訪れる流れがとても面白いですね。やはり距離が近づくと相手のことを好きになってしまうというのはあると思いますね。香澄を見ているとそれが顕著に現れているので、そこが非常に面白いところです。正直、香澄の中には元彼の存在などもう完全にないのだろうなということが見ていてわかりました。

本当に萱沼という男性の存在は魅力的ですね。香澄の危険を察知して素早くガードしている感じが本当にすごいです。爽太の家に香澄の荷物を取りに行く時もスマートな対応であっさり取り返してきてくれて本当に格好いいなと思いましたね。こういうことができる男性というのは本当に魅力的です。萱沼を見ているとそう強く実感させれます。

香澄が萱沼のために手料理を振る舞う場面があるのですがそこの姿が本当に可愛らしいですね。萱沼のことが好きだという想いが溢れかえっていることが香澄の顔から伺えて本当にほっこりしました。やっぱり香澄はとても優しい女の子だと思います。相手のことを慮って、いつも振る舞ってくれるのですごく見ていて癒されます。そんな香澄のことが大好きな感じが萱沼の表情からも伝わってきますね。

僕のことだけ見てればいいののにの16話～20話感想

香澄が完全に萱沼に恋していることがわかるので必見です。今までそれとなくごまかされてきましたが本当に萱沼を男性として愛している香澄の心情が作画から強く伝わってくるのでそこに注目するとより作品全体が面白くなってきます。個人的に専属アシスタントを外されるかも知れないとわかってからの香澄の顔が好きですね。焦りに満ちていて応援したくなります。

萱沼はとても優しい性格なのですが、時々まちょっと掴みどころがない時があるのでその点もかなり気になりますね。ミステリアスとまでは言いませんがなんとなくいつも優しいので怖くなる時があります。これは本心で言っているのかなとか色々邪な感情が見え隠れしてしまう場面に遭遇するのでそこも面白いところです。よって香澄との関係が結局どう転ぶのかすごく気になります。

香澄の不安な感情がとてもリアルに描かれていましたね。萱沼の専属アシスタントを外された場合のことを色々考えていましたが凄く香澄らしいですね。ネガティブに考えてしまうのが彼女の特性だったことをすっかり忘れていました。でも香澄がそう思ってしまう気持ちもわかります。一度彼氏が浮気しているトラウマがあるので、それが強く影響していることは明白ですね。

僕のことだけ見てればいいののにの21話～22話感想

このエピソードを読んで萱沼の気持ちが又よくわからなくなりましたね。香澄のことが好きなのかと思ったら、ふとそけない態度をとってみせたり墨川に対してマウントを取ったり彼の言動が気になって仕方ありません。香澄の気持ちをなんとなく推し量っているように見えて萱沼にはもっとちゃんと香澄と真剣に向き合ってほしいですね。正直焦らすことをしても好転しないような気がします。

今回の話で萱沼の謎がより深まったように思いましたね。かつての彼女たちが、もれなくおかしくなってしまうということは、即ち萱沼が原因だということと結びつくので早く香澄には目を覚ましてほしいですね。ヒロインが酷い目に遭う場面はあまり見たくないの、何か打開策がこの先の展開で講じられることを強く望みたいです。

僕のことだけ見てればいいののにの23話～24話感想

萱沼って基本いい人だとは思いますが、ちょっと気持ちが重たすぎました。相手も同じように重たいタイプならいいと思いますけど、香澄にはちょっと合わなさそうです。香澄が家を出る決意をしたのは別の理由っぽいですけど、丁度よい機会になりそうだと応援したくなりました。気になるのは太田の動向です。萱沼にはまるで相手にされませんでしたけど、だからといってこれで引込むような性格ではありません。恐らく何か仕掛けてくると思いますし、太田の今後には注目したいです。

僕のことだけ見てればいいののにの26話感想

萱沼が可哀そうだと感じました。香澄は自分のことしか考えていなかったように思います。ちゃんとした説明をせずに家を出たことにより、萱沼がどんな気持ちになったのか想像して欲しいですね。萱沼視点で見れば、ほぼ一方的に振られたようなものでしょう。それでも優しい言葉でメッセージを送るあたり、紳士的で好感が持てました。香澄にはもう少し相手のことを考えた行動が出来るようになってほしいです。

僕のことだけ見てればいいののにの27話～28話感想

香澄が嬉し泣きしてしまう気持ちが痛いほどわかりました。というのも、実質別れ話を切り出したようなものだと感じたから。香澄自身別れることになっても仕方ないと覚悟していたわけですし、それだけに嬉しさもひとしおだったと思います。気になったのは今後の二人です。今回のトラブルを経て、二人の絆はより深まったように感じました。距離を置きたいと香澄は言いましたが、すぐに元の関係に戻ってしまうかもしれませんね。

僕のことだけ見てればいいののにの29話～30話感想

萱沼のデートは見事過ぎました。ここまでくると、逆に怪しさを覚えるレベルですね。香澄が注目している水族館や好み

の飲食店を選んだりしているところが絶妙過ぎて。こんな風にエスコートしてもらったら、お家へのお誘いを断れなくなってしまうのも分かる気がしました。気掛かりなのは香澄の職場復帰です。今は有給中だからのんびり過ごせていますが、働きだしたらどうなのでしょう。萱沼が心配しているようなことになるんじゃないかと不安になりました。

僕のことだけ見てればいいののにの31話～32話感想

香澄が立ち直っていて安心しました。結局のところ、香澄の言う通りなんですよ。人は自分の問題を解決するだけで精一杯。頼られたからといって何でも引き受けてしまうと、当然パンクしてしまいます。完全に吹っ切れていて、ほっとしました。気になったのは人事から来たメールです。部署異動となれば、退職をしなくてもいいのではないのでしょうか。このまま働き続けることができるわけですし、生産課がどういった部署なのか注目したいです。

僕のことだけ見てればいいののにの33話～34話感想

香澄の成長した姿を見れたのが良かったです。以前の香澄だったなら、ここまでキツパリと断ることは出来なかったでしょう。下手したら、営業部長の言葉に従っていた可能性まであります。それだけに、戸惑うことなく断りを入れる姿が素敵でした。気掛かりなのは萱沼です。仕方のないこととはいえ、香澄は萱沼に生産部への異動を秘密にしました。このことが萱沼にどんな影響を与えることになるのか注目したいです。

僕のことだけ見てればいいののにの35話感想

萱沼と香澄が偶然出会った瞬間を見て、本当にタイミングが悪いなと感じました。香澄が社内にいることを知るにしても、香澄本人から聞いていた場合と、偶然出くわした場合は、印象がかなり違うと思います。少し束縛感が強いようにも思えますが、萱沼がイライラする気持ちも理解できました。問題は萱沼がこれからどう行動するかですね。香澄から事情を聞いて、口外できなかったことには納得してくれました。しかし、理性では納得していても、感情がまだ追いついていないように感じます。萱沼がどのように香澄に接するのか、その行動に注目したいです。

僕のことだけ見てればいいののにの36話感想

いい雰囲気になって、ほっとしました。香澄が異動のことを秘密にしていたのは仕方のないことです。萱沼もそれは理解しているのですが、感情がついていってなかったようでした。今回のことで二人は不仲になるのではと不安を感じていただけに、安心しました。気になるのは、異動先を知ったときの萱沼の反応です。生産と聞いた瞬間、萱沼は素の表情に戻っていました。まるで幸せの絶頂にいるかのようなだったので、生産がどんなところなのか注目したいです。

僕のことだけ見てればいいののにの37～38話感想

墨川がまともそうでほっとしました。初対面から不愛想な感じがして、不安だったんですよね。ところが案外普通に話せますし、作り笑いが苦手というだけ。根は良さそうな人ですし、これなら香澄も良い関係を築けそうだなって安心しました。気になったのは萱沼です。香澄が新しい職場に馴染めそうなのは喜ばしいことだと思います。でも、墨川と香澄の距離感をかなり気にしている様子。これが二人の関係を悪化させることになるのではと心配になりました。

僕のことだけ見てればいいののにの39～40話感想

萱沼が香澄に対して抱く不信感に共感してしまいました。事情があったとはいえ、香澄は自分に知らせずに部署異動をしていたり、同期の人のことを思い出して笑顔になっていたりします。萱沼が気になってしまうのも無理はありません。そのうえ、家に誘っても歓迎会があるからと断られてしまいました。そのあたりの配慮を香澄はするべきなのでしょうが、萱沼のそうした気持ちには気づいていません。このままだと二人の関係がこじれてしまうのではないかと心配になりました。

僕のことだけ見てればいいののにの41～42話感想

萱沼がなぜメンタルをここまで不安定にさせているかわかってスッキリしました。香澄に悪気がないのは明らかですが、それでも萱沼が不安を感じてしまう気持ちは理解できます。これまで香澄が自分に依存していた分、その変化が大きく、

まるで自分のもとから離れていってしまうように感じたのでしょう。さらに、自分に何も告げずに生産部へ異動したことが、決定打になったように思えます。香澄が前向きに成長していく一方で、萱沼は心に影を落としてしまいました。不安定になった萱沼が、この先どのような行動を取るのか注目したいです。

僕のことだけ見てればいいののにの43～45話感想

墨川と萱沼がつながっていたことには、驚かされました。メッセージを見た感じ、相当親しい関係であることがうかがえます。だからこそ、萱沼は不安を募らせているのではないかと感じました。墨川の人となりをよく知っているからこそ、その魅力を理解しており、香澄が惹かれてしまうのではないかと考えたのではないのでしょうか。そのような強い不安を抱えている中で、香澄と墨川が楽しげに会話している場面を目にしてみたいです。この出来事が萱沼にどのような影響を与えるのか、注目したいです。

僕のことだけ見てればいいののにの46話感想

香澄は少し不用心だったように感じました。もちろん、香澄にも墨川にも特別な下心がないことは伝わってきます。残業を手伝ってもらったのも、純粋に仕事上の都合からでしょう。しかし、問題は当事者たちの認識ではなく、周囲からどう見えるかです。男女二人きりで残業をしていたと聞けば、事情を知らない第三者がさまざまな憶測をするのも無理はありません。まして萱沼の立場からすれば、自分との約束をキャンセルされたうえ、その時間を墨川と二人で過ごしていたと知れば、複雑な気持ちになるでしょう。香澄に悪気はないのかもしれませんが、そうした相手の受け取り方への配慮が少し欠けていたように感じました。特に萱沼は以前から精神的な不安定さを見せているだけに、この行動が二人の関係にどのような影響を与えることになるのか注目したいです。

僕のことだけ見てればいいののにの47話～48話感想

墨川の言葉には、思わず納得してしまいました。確かに香澄は自立心が強く、一般的な意味で男性に依存しそうなタイプには見えません。しかし、萱沼が意図的に香澄を依存するよう仕向けていたのだとしたら話は別。実際、これまでの萱沼の言動を振り返ると、相手を自分に強く惹きつけるような一面が見受けられます。そう考えると、香澄だけに原因を求めなかった墨川の視点は鋭く、よくそこに気づいたのだと感心させられました。一方で、気になるのは萱沼の動きです。萱沼は萱沼で、水面下で何かの動きを見せていました。呼び出した女性から一体何を聞こうとしているのか、注目したいです。

僕のことだけ見てればいいののにの49話～50話感想

萱沼の思考が、かなり危うい方向へ傾いているように感じます。以前の萱沼には心の余裕があり、香澄が自立していくことにも反対していませんでした。むしろ、一人の人間として尊重しようとする姿勢さえ見られました。しかし今の萱沼は違います。香澄から返信が来ない不安や墨川への存在への焦りが積み重なったことで、香澄が自分に強く依存していた頃が一番良かったと考えるようになってしまいました。このまま不安や焦燥感がさらに募れば、萱沼が暴走してしまう可能性も十分ありそうで、今後の展開が心配です。一方で、女性たちの会話も気になりました。その話題は香澄に関係するものだっただけに、どのような内容が語られるのか非常に気になります。また、その会話を耳にした萱沼がどのような反応を見せるのかも注目したいです。

僕のことだけ見てればいいののにの51話～52話感想

太田は食えない女性ですね。社内での上下関係でいえば、萱沼の方が上でしょう。普通、目上の人から問いただされたら、恐縮したりするものですけどね。でも、太田からはそんな殊勝な態度がおくびにも感じられませんでした。それどころか、萱沼に対して、よくそのような話し方ができたのだと驚かされました。一方で、太田の言動が気にかかります。その口ぶりから、太田が萱沼の間の部分を知っていることは間違いないでしょう。一体どこまで知っているのか、注目したいです。

僕のことだけ見てればいいののにの53話～55話感想

太田が微妙過ぎました。もし30年ほど前の話なら、太田の気持ちもわかります。当時は結婚後に寿退社して専業主婦になるのが一般的でしたから。仕事に対する意識も今と違っていました。しかし、今は違います。香澄の考え方が普通であり、太田のような意識で仕事に向き合っている女性は少ないでしょう。だからこそ香澄は太田の気持ちが理解できず、確執を生んでしまったんだなと感じました。また、そういった考え方があったからこそ、太田は木原に手を出したのだと思います。とはいえ、太田が自己中心的であることには変わりなく、あまり近づきたくない女性だなと感じました。

僕のことだけ見てればいいののにの56話～58話感想

太田と香澄の関係が良好になってよかったです。二人の間に大きな溝となっていたのは、仕事に対する姿勢や考え方でした。仕事をバリバリ頑張る香澄に対して、太田は女性が仕事を頑張っても仕方ないと考えています。だからこそ、太田は香澄の仕事に対する姿勢を受け入れられなかったのでしょう。それだけに、今回の展開は意外でした。太田の考えは香澄寄りになり、関係も良好になったように思えます。それだけに、なぜ太田と香澄の関係が微妙になったのか気になりました。

僕のことだけ見てればいいののにの59話～60話感想

太田は比較対象を間違えていますね。今でこそ香澄はバリバリ仕事ができるようになっていきますけど、新入社員の頃から今と同じようにできていたわけではないでしょう。比較するなら、今でなく入社当時の香澄とすべきなんですよ。逆に、新人の太田が香澄と同じだけの仕事をこなしてしまったら、香澄の立つ瀬がないというもの。そう考えると太田と香澄に差はあって当然ですし、そのことで焦るのは傲慢なのではと感じました。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス